

地域資源活用部門

全ての人が出すごみを媒体としたまちづくり、人づくりを目指す

和歌山県御坊ふるさと倶楽部

○会長 白井 忠

副会長 湯川 忠

1. 活動方針・目的

理念

「物を大切に作る」&「互いに声かけ合える」ような人々が暮らす地域、元気のある地域をめざす。

具体策

全ての人が出す「ごみ」を媒体として人づくりを目指す。

2. 活動内容

家庭塵の削減活動を通して

老人には社会貢献と体を動かすことにより何時までも元気に

若者には「みやこ姫よさこい祭り」等を利用して元気に

障害者には国体イベント等を利用した雇用の拡大と賃金アップを

3. 他の活動団体の参考となる事例

(1) 理念

団体等設立した時理念がはっきりしていないと、数年後活動がゆき詰まった時や停滞した時に軌道修正を掛けると思いますが、理念がしっかりしていないと活動の方向が当初とちがってきます。

(2) 長期目標、年間目標を定めるも、日々は一步前進二歩後退の行動

(3) 活動を続けてゆく為に、賛同して頂く議員さん等周辺のグループ等からのアドバイスが大きいと思います。

4. 今後の課題等

(1) 行政との協働化

ごみ問題も含めて行政が主体となるべきと思いますが、行政は長期ビジョンもなく只処理しているだけの行政をどの様にして変えてゆけるのか。

(2) 住民の意識改革

超高齢化社会を迎えている中で例えば介護保険は1万円に近づいています。もし徳島県上勝町の様にごみ処理を実施すれば介護保険分以外に少子高齢化社会へも税金が回せる可能性があります。この様な事を広く知って頂く為の方策??

全ての人が出すごみを媒体とした まちづくり、人づくりを目指す

• 家庭ごみの削減活動を通して

- 老人には社会貢献と体を動かすことにより
何時までも元気に
- 若者には「みやこ姫よさこい祭り」等を利用して
元気に
- 障害者には国体イベント等を利用した雇用の拡大
と賃金アップを



和歌山県御坊市
「ふるさと倶楽部」
会長 白井 忠

地域の紹介

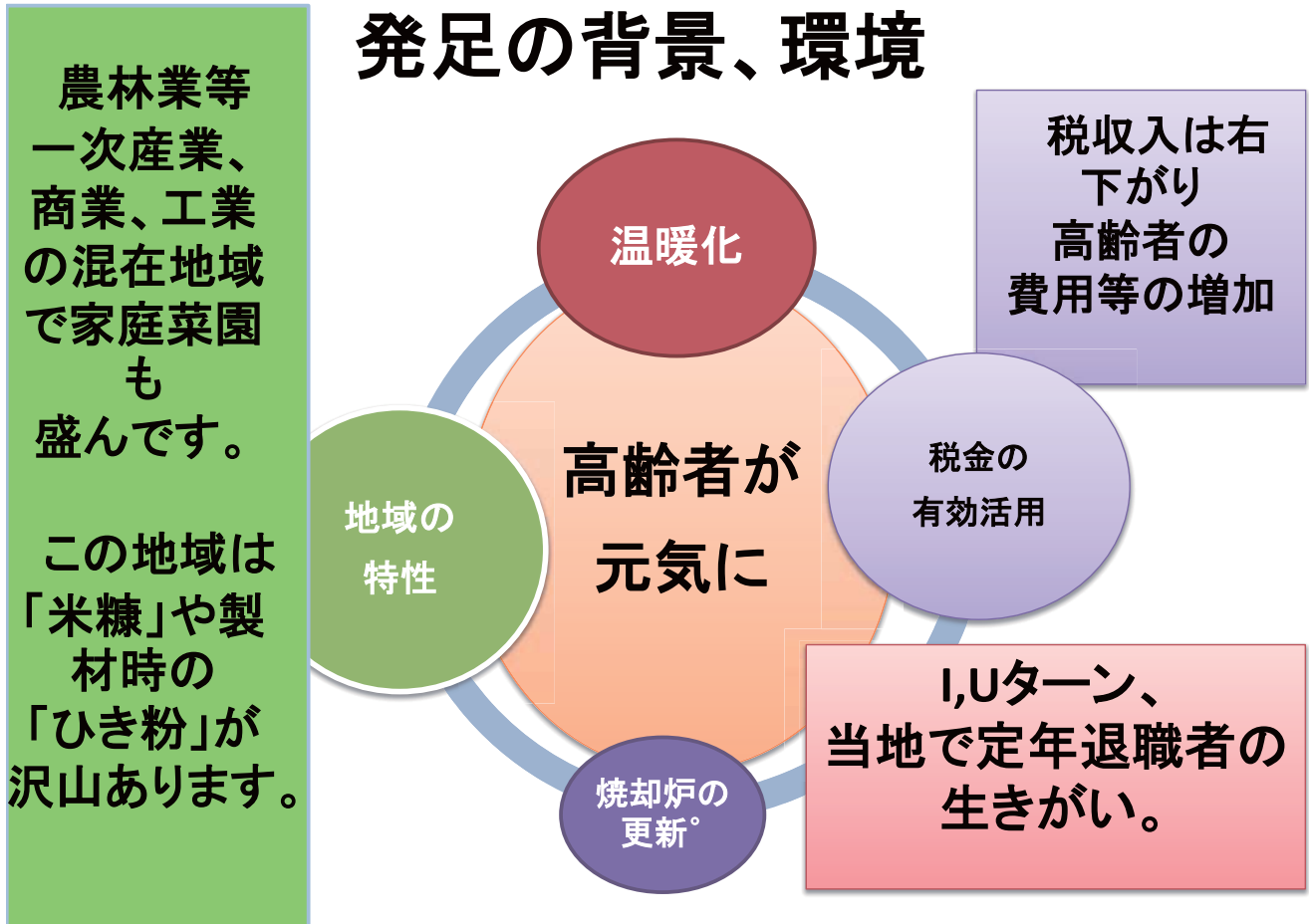


1.和歌山県の中部で農林漁業、商業と工業の混在した地域です。

2.対象地域は御坊を中心とした1市5町で、林業では製材所多数あり又一方農業では柑橘類の栽培等も盛んであり、家庭菜園も盛んな土地です。

3.しかしご多分にもれず高齢化地域です。

発足の背景、環境



ふるさと倶楽部の発足

平成18年(2006)10月4日

家庭ごみの削減

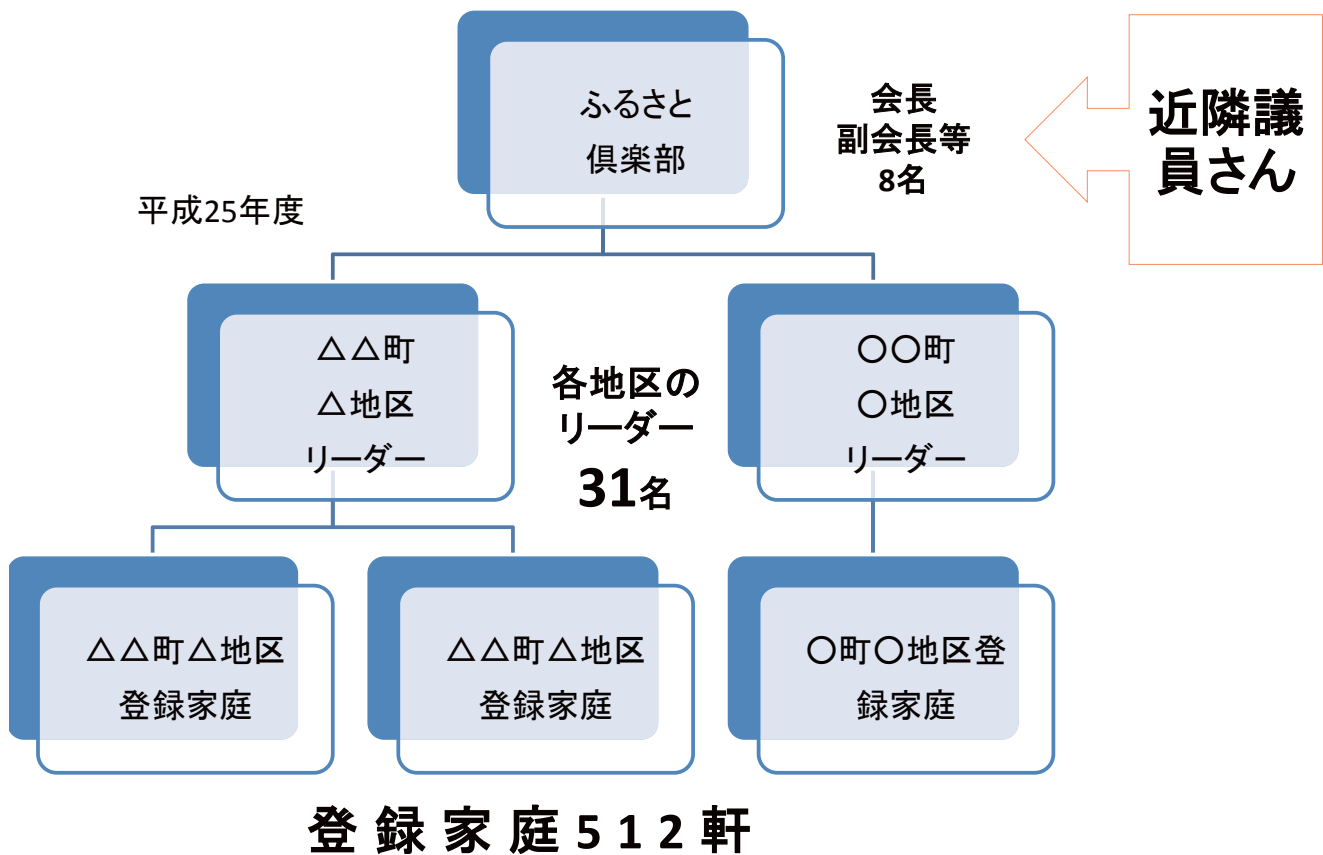
理念

「物を大切にする」と「互いに声かけ合える」
ような人々が暮らす地域、
元気のある地域をめざす。

↓

全ての人が出す「ごみ」を媒体として
人づくりを目指す。

ふるさと倶楽部の体制



生ごみ堆肥化の特徴

地域に合った材料(米糠、引き粉)等を利用したシンプルな方法とフォローの実施

(1) 立地特性を活かした取組。

(2) 参加家庭に合った方法。



(3) 私達は「実施説明会」以降5回のフォローと、その後毎年定期的なフォローを実施しています。

現地で実施説明会
(発酵促進剤の作り方)

1週間後のフォロー
(発酵促進剤の出来具合)

1ヶ月後のフォロー
(虫等の発生)

3ヶ月後のフォロー
(堆肥化の進捗)

6ヶ月後のフォロー
(実施上の問題点)

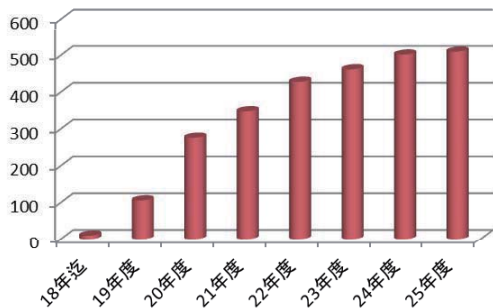
1年後のフォロー

臭い、虫の発生防止。

可燃ゴミの減量化の具体例

生ごみ堆肥化登録軒数

登録家庭の推移



10軒から510軒
となりましたが、
対象地域の2%です。

美浜町三尾地区では休耕田を利用した花づくり

1. 現在は一人暮らしの家庭の生ごみを堆肥化して利用。
2. 今後は見守り隊としてボランティアさんが、一人暮らしの家庭を廻り生ごみを回収する事を検討中。

生ごみ堆肥化から新たに展開



生ごみ
堆肥化

伸び悩み

生ごみ以外
にも目を向
けては

徳島県上勝町

生ごみ堆肥化は
従来通り進める
新たに残ったごみにも
注力する。

イベントでゴミ分別への
取り組み

イベントでゴミ処理
に困っている。

- (1) ゴミの量が3(t)のトラック満杯のゴミ
- (2) 夜暗くなる迄整理にかかる。
- (3) 翌朝、臭いとカラスに荒らされたのを処理している。

子供たちを元気に!ふるさとを元気に!

- 民間団体が「みやこ姫よさこい祭り」

「ふるさと」倶楽部も実行委員として参加し、
主として静脈産業を担当

- 1.利用された方々がさわやかな気持ちになって頂く様なトイレ清掃。
- 2.参加者とのふれ合いを大切に!場内清掃
- 3.参加者にごみは自ら分別して頂ける様支援してごみの削減

福祉団体と協働で実施する。

- 1.会場内にはごみ箱を置かないで
ごみ分別ステーション1ヶ所設ける。
- 2.ごみは参加者自身で分別して頂く。
- 3.私達はごみ分別を実施しないで支援する。

みやこ姫よさこい祭り



実施前は
3(t)の
トラック満杯

実施したら軽トラ
で済みました。



26年度
オムツ、
その他
可燃ごみ
は焼却に



堆肥



①生ごみは堆肥に



②箸は堆肥に

26年度は13品目の分別



ペットボトル

- ③キャップはワケチンに
- ④ペットボトルは衣類に



- ⑩トレー類
- ⑪プラスチック類は燃料に



⑦瓶類はリサイクルして再度瓶類に



⑥段ボール類は雑誌類に



⑧紙コップ類、
⑨トイレットペーパーの芯はトイレットペーパーに



⑤缶類リサイクルして缶類に



⑫オムツ、
⑬その他可燃ごみは焼却に



資源として回収

国体リハーサル大会(ホッケー)



学生達も参加

資源として回収

堆肥化

生ごみ



海干しの種



箸



缶類



紙コップ



トイレットペーパーの芯



ペット、ラベル、キャップ



ダンボール



ごみとしては
オムツ 1/2 と
タバコの吸い殻
その他のごみ
2袋でした。

常設の資源物回収施設



常設から次は

よさこい祭り

JA農器用祭り等
他のイベントで実践。
国体リハーサル大会で実践

常設資源物、回収施設の設置
(福祉団体の施設内に)

今後
他の町等での実践

今後
常設バザー室
の併設